

循環器および呼吸理学療法における Recovery Phase の臨床応用

1. 研究の対象

2019 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日に当院で理学療法が処方され、理学療法部門内部障害グループが担当した方

2. 研究目的・方法

理学療法の臨床現場では、質向上のための卒後研修が急務とされています。医療の質管理にはドナベディアンモデルが広く活用されており、特にプロセスとアウトカムの評価が重要になります。特に急性期病院では患者の回復過程が不明確で担当者の経験に左右されるため、理学療法のプロセスとアウトカムに課題があります。この課題に対し、患者の回復過程を 4 つの相に区分する Recovery Phase を導入し、理学療法士間での共通認識を図り、臨床的思考過程のトレーニングとして活用しています。本研究は循環器および呼吸理学療法における Recovery Phase の臨床応用可能性を探索することを目的とします。そのために以下に記載する情報を診療録から収集し、単純集計にて調査します。

研究実施期間：研究実施許可日～2027 年 3 月 31 日

利用を開始する予定日：2024 年 7 月 24 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

基本情報：診断名、性別、年齢、身長、体重、在院日数、理学療法実施日数、転帰
理学療法評価指標（初回評価及び退院時評価）：握力、膝伸展筋力、10m 歩行試験、片脚立位保持時間、Short physical performance battery、Bedside mobility scale、Barthel index、6 分間歩行距離、連続歩行距離、最大吸気筋力、新たな呼吸器合併症の有無、関節拘縮の有無等。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：

秋田大学医学部附属病院リハビリテーション部 理学療法士 高橋 裕介

連絡先：〒010-8543 秋田県秋田市広面字蓮沼 44-2 TEL:018-884-6372(直通)

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称：

国立大学法人秋田大学大学院医学系研究科

研究科長 羽渕 友則